

## 第63期 中間報告書

平成22年4月1日から平成22年9月30日まで



皇和電機株式会社  
<http://www.seiwa.co.jp/>  
京都府城陽市寺田新池36番地  
TEL：0774-55-8181

## 経営理念

人材の開発と相互信頼に努め、  
新技術に挑戦して、社会に貢献する。

LED素子から製品までを一貫生産  
All in One, **SEIWA**

株主のみなさまへ	1
事業別の概況（連結）	2
トピックス	4
財務の状況（連結）	6
財務の状況（個別）	7
会社概要	8
株主メモ	9

## 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて当社グループ第63期第2四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）の事業が終了しましたので、その概要をご報告申し上げます。

当第2四半期におけるわが国経済は、中国を中心とした新興国の需要拡大や、政府の消費刺激策による効果もあり、景気は緩やかな回復傾向が続きました。しかし、設備や雇用の過剰感に容易に払拭されず、円高・株安やデフレ状況の継続など、依然先行き不透明な状況が続いております。

このような環境下において当社グループでは、顧客満足度を高めるべく、積極的な営業活動とコスト削減、製品品質向上に全社を挙げて取り組み、さらに新製品・新技術の開発にも力を注いでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は70億98百万円（前年同期比3.8%減）、経常損失は7億61百万円（前年同期は4億46百万円の損失）となりました。また、特別損失として平成20年9月に提訴されていた訴訟の平成22年10月の判決に伴い、偶発損失引当金繰入額2億33百万円を計上しております。これにより、四半期純損失は11億44百万円（前年同期は1億92百万円の損失）となりました。

中間配当については、従来どおり見送りとさせていただきますのでご了承のほどお願い申し上げます。

今後の見通しにつきましては、公共事業の抑制傾向や景気の回復感が乏しく厳しい局面が予想されるなか、コスト低減活動、諸費用の削減努力を進め、利益確保に全力を挙げて取り組んでまいります。

また、全事業分野にわたり社会の発展に寄与する独創的

な商品の提供はもとより、省エネルギーを実現する商品の開発を促進し、地球環境に向けた取り組みを進めるとともに、品質・安全性の確保を図り、顧客満足の一層の向上に努めてまいります。

とりわけ照明分野では、国の省エネルギー対策を背景としたニーズの高まりをうけて、LED照明市場が急速に拡大しております。このような状況のもと、当社グループにおきましてもLED産業用照明をはじめ、道路用、住宅用、店舗用など各市場に新製品を本格投入してまいります。本年5月にはLEDチップや照明モジュールの生産能力増強のため新工場を着工、平成23年4月に稼動予定としております。さらなるコスト力強化と品質向上を図ることで、LED照明事業の業績拡大に向けて競争力を高めてまいります。

さらに、全社を挙げて内部統制の確立、コーポレートガバナンスの強化、コンプライアンスの徹底に取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。



平成22年12月

取締役社長

**増山晃章**

## 事業別の概況（連結）

### 情報機器事業 32.2%

22億87百万円（前年同期比 21.4%減）

主要製品：情報表示システム  
トンネル防災システム LED式信号機

この部門の主力製品であり  
ます道路情報機器において、  
高速道路向けの売上が前年  
同期に比べ減少しました。

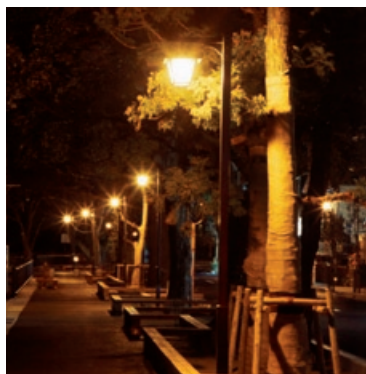


### 照明機器事業 28.3%

20億6百万円（前年同期比 1.0%増）

主要製品：照明器具 制御機器  
LEDデバイス部品

公共投資関連の道路・トン  
ネル照明器具は増加しまし  
たが、民間設備投資関連の  
産業用照明器具は、設備投  
資の低迷により減少しまし  
た。また、LEDデバイス  
部品はデジタル家電などの  
回復により微増となりまし  
た。

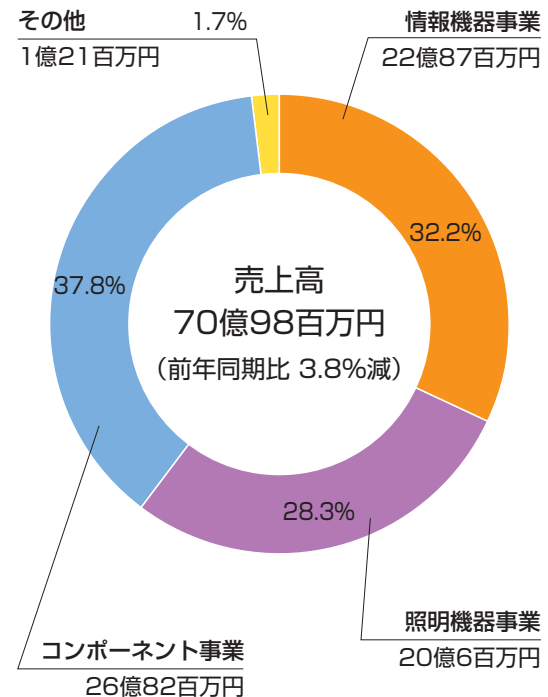
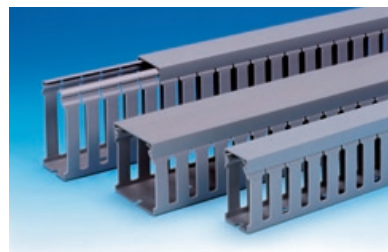


### コンポーネント事業 37.8%

26億82百万円（前年同期比 14.6%増）

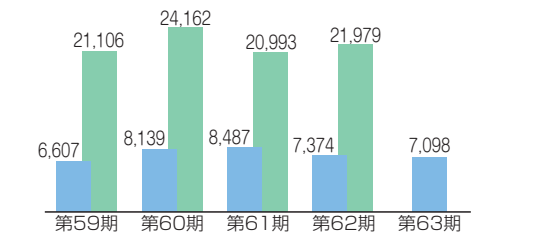
主要製品：配線保護機材 配管保護機材  
電磁波環境部品

配電盤や機械装置に用いる  
産業用配線保護機材、エア  
コン用配管保護機材ともに  
需要の回復により増加しま  
した。また、電磁波環境部  
品もデジタル家電などの回  
復により増加しました。

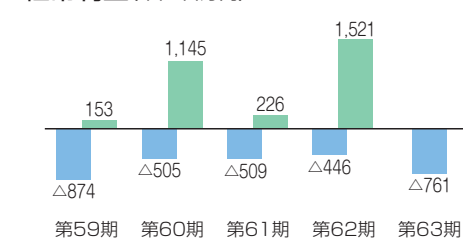


### 財務ハイライト（連結）

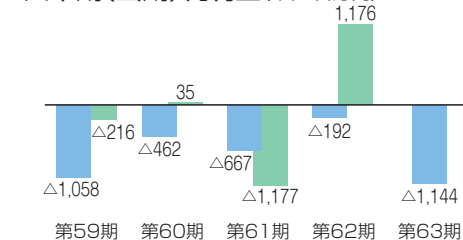
売上高(単位:百万円)



経常利益(単位:百万円)



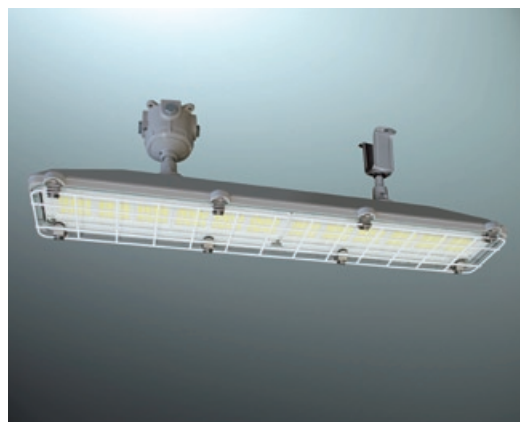
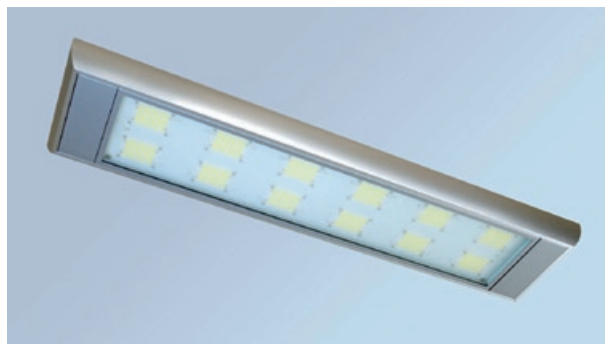
四半期(当期)純利益(単位:百万円)



## トピックス

### 安全増防爆形LED照明器具（LGBA0612シリーズ）

国内初の防爆エリアで使用できる蛍光灯（40W×2灯用）相当品の安全増防爆形LED照明器具（LGBA0612シリーズ）を発売しました。灯具本体に放熱性に優れたアルミダイカストを採用し、効果的な放熱対策を行うことで光源寿命4万時間のメンテナンスフリーを実現しました。従来の蛍光灯（40W×2灯相当品）に比べ、器具の明るさは約37%アップしています。また、灯具の小型・軽量化を実現し（当社比38%の小型化・15%の軽量化）、施工性の向上にも貢献します。



### クリーンルーム用LED照明器具（直付形）

クリーンルーム用のLEDベース照明として、先に埋込形を発売しておりますが、その第二弾として直付形を発売しました。光源寿命4万時間のLEDを採用することにより、わずらわしいランプ交換作業の手間を削減しメンテナンスフリー、生産ロスの削減を実現します。蛍光灯40W×2灯用に比べ、明るさ同等の条件（当社設計条件）で、設置台数を約22%削減でき、トータルの消費電力は約30%低減できます。CO<sub>2</sub>削減に貢献します。



### 密閉形LED透視灯

国内初の密閉形LED透視灯を発売しました。この器具は白色LEDと専用レンズにより、製造装置内を有効に照射する配光特性と光源寿命4万時間のメンテナンスフリーを実現しました。従来の白熱灯100W器具に比べ明るさ（平均照度）は同等で、消費電力を約75%低減（当社比）し、CO<sub>2</sub>削減に貢献します。

### 本社工場敷地内に新工場を増設

LED（発光ダイオード）チップや照明モジュールの増産に対応するため、本社工場敷地内に新工場を増設し、生産能力を増強します。新工場の延床面積は、約6,600平方メートルです。この新工場の完成により、生産能力は約2倍を予定しています。2011年4月に稼動予定です。



LED新棟 完成予想図

## 財務の状況（連結）

	前第2四半期末 平成21年 9月30日現在	当第2四半期末 平成22年 9月30日現在	前期末 平成22年 3月31日現在
<b>【資産の部】</b>			
流動資産	13,318	11,547	16,679
固定資産	5,721	6,068	5,515
有形固定資産	2,488	3,108	2,330
無形固定資産	123	116	100
投資その他の資産	3,109	2,842	3,084
資産合計	19,040	17,615	22,195
<b>【負債の部】</b>			
流動負債	8,208	6,427	10,344
固定負債	3,080	3,543	2,784
負債合計	11,288	9,971	13,128
<b>【純資産の部】</b>			
株主資本	7,208	7,286	8,576
資本金	3,380	3,380	3,380
資本剰余金	3,613	3,613	3,613
利益剰余金	409	488	1,777
自己株式	△193	△195	△194
評価・換算差額等	430	257	382
少数株主持分	111	100	107
純資産合計	7,751	7,644	9,066
負債・純資産合計	19,040	17,615	22,195

	前第2四半期(累計) 平成21年 4月1日から 平成21年 9月30日まで	当第2四半期(累計) 平成22年 4月1日から 平成22年 9月30日まで	前期 平成21年 4月1日から 平成22年 3月31日まで
売上高	7,374	7,098	21,979
売上原価	6,020	6,142	16,846
売上総利益	1,354	955	5,133
販売費及び一般管理費	1,736	1,669	3,525
営業利益又は営業損失(△)	△382	△713	1,607
営業外収益	46	56	88
営業外費用	110	103	174
経常利益又は経常損失(△)	△446	△761	1,521
特別利益	41	9	51
特別損失	43	250	323
税金等調整前四半期純損失(△) 又は税金等調整前当期純利益	△447	△1,002	1,248
法人税、住民税及び事業税	14	14	25
法人税等調整額	△267	133	54
少数株主損失(△)	△2	△5	△6
四半期純損失(△)又は当期純利益	△192	△1,144	1,176

	前第2四半期(累計) 平成21年 4月1日から 平成21年 9月30日まで	当第2四半期(累計) 平成22年 4月1日から 平成22年 9月30日まで	前期 平成21年 4月1日から 平成22年 3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,906	3,523	954
投資活動によるキャッシュ・フロー	△621	△922	△954
財務活動によるキャッシュ・フロー	310	△2,372	1,509
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△6	△1
現金及び現金同等物の増減額	1,593	222	1,508
現金及び現金同等物の期首残高	1,513	3,021	1,513
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	3,106	3,243	3,021

## 財務の状況（個別）

	前第2四半期末 平成21年 9月30日現在	当第2四半期末 平成22年 9月30日現在	前期末 平成22年 3月31日現在
<b>【資産の部】</b>			
流動資産	12,930	11,148	16,308
固定資産	5,765	6,136	5,586
有形固定資産	2,271	2,927	2,139
無形固定資産	114	86	91
投資その他の資産	3,379	3,121	3,355
資産合計	18,695	17,284	21,895
<b>【負債の部】</b>			
流動負債	8,202	6,369	10,362
固定負債	3,080	3,543	2,784
負債合計	11,283	9,913	13,146
<b>【純資産の部】</b>			
株主資本	6,966	7,084	8,348
資本金	3,380	3,380	3,380
資本剰余金	3,613	3,613	3,613
利益剰余金	167	285	1,549
自己株式	△193	△195	△194
評価・換算差額等	445	287	400
純資産合計	7,412	7,371	8,749
負債・純資産合計	18,695	17,284	21,895

	前第2四半期(累計) 平成21年 4月1日から 平成21年 9月30日まで	当第2四半期(累計) 平成22年 4月1日から 平成22年 9月30日まで	前期 平成21年 4月1日から 平成22年 3月31日まで
売上高	7,253	6,959	21,716
売上原価	5,918	6,046	16,631
売上総利益	1,335	912	5,084
販売費及び一般管理費	1,727	1,632	3,498
営業利益又は営業損失(△)	△391	△719	1,586
営業外収益	48	62	92
営業外費用	105	97	172
経常利益又は経常損失(△)	△449	△755	1,506
特別利益	41	24	49
特別損失	43	245	314
税引前四半期純損失(△) 又は税引前当期純利益	△451	△975	1,241
法人税、住民税及び事業税	10	10	20
法人税等調整額	△262	131	37
四半期純損失(△)又は当期純利益	△199	△1,118	1,182

## 会社概要

### 会社の概況（平成22年9月30日現在）

商号 星和電機株式会社  
 英文名 SEIWA ELECTRIC MFG. CO., LTD.  
 創業 昭和20年10月1日  
 資本金 33億8千万円

### 事業所

本社・工場 京都府城陽市寺田新池36番地  
 北海道支社 札幌市中央区大通西7丁目1番地1  
 東京支社 東京都千代田区神田美土代町3番地3  
 中部支社 名古屋市東区泉一丁目21番15号  
 関西支社 大阪市西区靱本町一丁目4番12号  
 営業所 東北（宮城県）・新潟・京都・高松・  
 広島・福岡

物流センター 関東物流センター（茨城県）

### 役員（平成22年9月30日現在）

取締役社長(代表取締役) 増山晃章  
 専務取締役(代表取締役) 愛知後秀作  
 専務取締役 山口豊隆  
 取締役 正林啓志  
 取締役 佐野廣一  
 取締役 中島賛太郎  
 取締役 井上通昭  
 監査役(常勤) 酒井邦夫  
 監査役 岡正  
 監査役 中野淑夫  
 監査役 益満清輝

※監査役のうち中野淑夫および益満清輝は社外監査役であります。

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会 6月  
 基準日 定時株主総会 3月31日（その他必要があるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。）  
 期末配当 3月31日  
 中間配当 9月30日

単元株式数 1,000株

株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

公告方法 当社のホームページ（<http://www.seiwa.co.jp/>）に掲載します。

ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

### お問い合わせ先

	証券会社の口座で株式をお持ちの場合	特別口座に記録された株式をお持ちの場合
郵便物送付先	お取引の証券会社	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	※未払配当金の支払い、支払明細発行については、右欄の「特別口座の場合」と同じ郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	0120-288-324（フリーダイヤル）
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店